

児童発達支援における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5 年 3 月 15 日

事業所名 ぐるぐるめろん島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	・活動内容に応じて別室を使用し、スペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	7	0	・常に児童指導員2名以上、専門職員2名以上を配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	・手順表や当日のスケジュール等視覚的に提示している。 ・情報の提示は日々見直ししながら伝わりやすいように努めていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	・使用した場所、物はその都度清掃、消毒を行っている。 ・子どもの活動に合わせた空間を作っている(課題、設定活動、運動遊び、静かな遊び等)。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	・療育前後のミーティングの他、週毎にスタッフミーティングの時間を設けている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	・アンケート結果をスタッフ間で共有し、改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	・アンケート結果と意見への回答(改善点含む)を事業所内に掲示するとともにHPで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	・市からの監査を受けている ・関連機関(クリニック、事業所)職員との情報交換、相談を行っている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	・定期的に勉強会の機会を設けている。 ・スタッフ間で研修内容等を共有するよう努めている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	・言語聴覚士による標準化された言語検査に加え、発達検査を行い、結果を支援計画に反映している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	・大野はぐみクリニックでの発達検査結果の情報共有を行っている。 ・療育の中でも、遠城寺式・乳幼児分析的発達検査やKIDS等の評価を取り入れていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	・療育前に支援計画の内容や課題(目標)を確認し、ミーティングを行っている。療育後も当日の振り返り、次回の目標設定を行い、スタッフ間で情報共有をしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	・月案の作成、それぞれの活動内容の詳細をスタッフ間で分担して立案、ミーティングで協議し内容の充実を図っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
16		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	・当日のスタッフの役割表を活用し、各自の役割を明示している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	・当日の反省点をスタッフ間で共有し、改善策を考えている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	・毎回電子カルテ上に個人の支援記録を保存し、振り返っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	・主に管理者が対応している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	4	・必要に応じて、地域こども相談センター等との情報共有を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	非該当		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	非該当		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	7	・今年度は対象者がいなかった。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	7	同上
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	7	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	0	・ペアレントトレーニングをご希望の保護者様に対して開催した。 ・来年度は開催回数を増やせるよう日程を調整したい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	・契約時に行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	・定期的な面談に加え、必要に応じ相談の時間を設け、送迎時や電話等でも相談に対応させていただくようにしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	・新型コロナウイルスの影響があり、保護者の交流の機会を多く設けることができなかった。 ・ペアレントトレーニングの場での保護者同士での交流が行えた。 ・夏祭りの様子を保護者の皆様にご覧頂くため上映会の機会を設けた。 ・プレ小学校の様子を参観して頂く機会を設けた。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	・毎月おたよりを発行し、活動内容や行事内容をお伝えしている。 ・作業療法士による運動クラブにおいても、毎月おたよりをお渡ししている。 ・適宜電話やメールでの連絡を行っている。 ・毎月、療育の活動場面の写真をお渡ししている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	・職員のための避難訓練、利用児と合同での避難訓練をそれぞれ隔月で行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	・同上
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	・年度毎のフェイスシート、年2回の支援計画で確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	・保護者様を通して対応方法を確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。